

## 第2回 隠岐の島町庁舎整備計画説明会 西田会場 質疑録

日 時： 平成28年5月20日

場 所： 西田集会所

住民参加者数： 20名

(住民 A) 庁舎建設に関連してのまちづくりについて町の方で具体的に考えていることはあるか？それによって建設する場所が違うと思う。

→ (役場) 建設に関する基本理念は先ほどの説明のように考えているが、場所については住民の方をまじえて検討したい。

(住民 A) 将来ビジョンを持って場所を検討して欲しい。

→ (役場) いろいろな施設と連携できる場所というようなことは考えて場所を検討したい。

(住民 B) 建替に賛成です。建設したのが昭和47年なので、当時のコンクリートは海砂を使っているの、中の鉄筋も錆びているかもしれないので、耐震補強するにしても方法が難しいと思うので建て替えた方が良いと思う。

→ (役場) 耐震診断においてはそこまで検討していないが、言われるとおりだと思う。

(住民 C) 役場は必ず必要な建物であるが、老朽化するのいつかは建てなおさなくてはならない。今建てなおすと合併特例債で7割のお金を国が負担してくれる。しかしこれを逃すと20億自腹で建て直さなくてはならない。

→ (役場) 今回の説明では合併特例債を使わずとも新築が経済的であるという説明をしており、合併特例債について詳しく説明をしていなかった。

合併特例債とは、20億円の建設費のうち95%の19億円を国から借金することができる制度であり、残り1億円は一般財源となる。

合併特例債は20年で返済し、利息が6千万円程度となるので、年間に1億円程度返済しなければならないが、その返済金の70%を国が交付税として助けてくれるので、実質の持ち出しが年間3千万円程度となる。

町としては200年の長期で考えても7.7億円程度経済的なのであえて言わなかったが、その合併特例債が使えるのがH31迄である。

よって町は、財源は合併特例債、工事はH31年迄に終わるように考えている。

(住民 D) 説明を聞いて、その後の使用年数を考えると、建替の方が有利だと言うことはよくわかった。わたしも建て替えた方が良いと思う。

庁舎の建て替えで住民が問題にするのは位置だ。最近の庁舎建て替えでは現位置付近が多いが、場所をかえるなら今より利便性が高いというような住民が納得で

きるような場所でないといけない。

現位置の川側に数階建ての建物を建て 1 階部分を駐車場にすれば現位置でも可能ではないか？現地建て替えが、基本になると思う。

→（役場）隠岐の島町庁舎建設検討委員会の中で場所は検討するが、現地建て替えも候補地の一つとなると思う。

（住民 E）長いスパンで考えるとき、役場が核になって町が作られると思う。他の町では供用した駐車場を作り、その廻りに役場、スーパー、ドラッグストアが建っていた。そういった考え方もあると思う。

→（役場）検討委員会の方に、その様な意見もあったと報告します。

（住民 F）新庁舎に賛成だが、20 億円の中に用地費も含まれているのか？

→（役場）近年の実例から  $40 \text{ 万円} / \text{m}^2 \times 5,000 \text{ m}^2 = 20 \text{ 億円}$  で算出したものであり用地費は含まれていないので、町有地以外に土地を求めれば、用地費が必要となる。

（住民 F）用地取得が大変だと思うので、現地庁舎位置での建替を含め考えて欲しい。

→（役場）新築が安くあがると言っても、将来に負担がないよう、安くて長持ちするものが検討されるはずである。

（町長）昨日の会場では、金が無いという中で、無理して建てなくても今の庁舎を耐震補強すればいいじゃないか、金があるなら疲弊している都万・五箇・布施に使えばいいじゃないかという意見、場所についてはもう一度街に戻せ、今の場所でもいいじゃないかとかいろいろな意見があった。

私のところには、「この役場は合併前の建物だ。都万・五箇・布施のことを考えるなら、へそである原田がいい。」と言う人もいる。

一日も早く、新築がいいのか耐震補強がいいのか早く決めて、場所についてはその後に検討していきたい。